

埋蔵文化財センター企画展

☎埋蔵文化財センター ☎73-2010

近世を掘るー地下からわかる取手宿ー

観覧・参加
無料

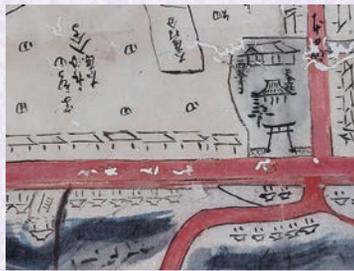
第54回目の企画展は、現在の取手市街地の礎となった江戸時代の取手宿の発掘調査資料などを中心に紹介します。期間中は、歴史講座や街道ツアーなどの行事を多数実施します。

期間 2月18日(火)～4月20日(日) 9:00～17:00

休館日：月曜日、2月25日(火)
※2月24日(月・振)は開館します。

会場 埋蔵文化財センター

[市ホームページ](#)



▲平成24年の取手宿跡発掘調査の出土品。江戸時代の人びとの日用品や、仏教の信仰用品などが見つかりました。

◀文化9年 取手大鹿入会疎絵図(取手市教育委員会蔵)左下の階段が描かれている辺りが、現在の念仏院周辺です。平成24年にこの辺りで発掘調査が行われました。

企画展展示解説・歴史講座 会場：埋蔵文化財センター

企画展展示解説

埋蔵文化財センター職員の解説を聞きながら見学できます。

日時 2月22日(土)・23日(日・祝)、3月29日(土)、4月6日(日)・13日(日)
各11:00～(約1時間)

申込 事前申込不要・当日自由参加

歴史講座 演題：「徳川齊昭・慶喜と取手宿本陣」

日時 ①3月29日(土) ②4月13日(日) 各13:30～15:00※両日同じ内容

講師 埋蔵文化財センター職員

定員 各回40人

申込 以下のいずれかの方法で

▶**郵送**：〒302-0007吉田383埋蔵文化財センター宛て※代表者を含む3人まで申込可能。往復はがき往信面に代表者と参加者全員の氏名(ふりがな)・電話番号と参加希望日を、返信面にご自身の宛先を明記

▶**電子**：市ホームページから

締切 ①3月14日(金)必着 ②3月28日(金)必着

「旧取手宿本陣染野家住宅」ガイド付き見学会と取手宿街道ツアーを開催します！

■ 県・市指定文化財「旧取手宿本陣染野家住宅」ガイド付き見学会

埋蔵文化財センター職員の解説を聞きながら見学します。

日時 2月22日(土)・23日(日・祝)、3月8日(土)・23日(日)、4月6日(日)・12日(土)各14:00～(約1時間)

会場 県・市指定文化財「旧取手宿本陣染野家住宅」主屋(取手2-16-41)

申込 事前申込不要・当日自由参加

■ 取手宿街道ツアー

旧取手宿本陣・長禅寺・八坂神社など、取手宿の範囲を徒歩で巡ります。

日時 ①3月8日(土) ②3月23日(日) ③4月12日(土)

各日、JR取手駅東口改札前に9:45集合(約2時間)

定員 各回15人

申込 以下のいずれかの方法で

▶**郵送**：〒302-0007吉田383埋蔵文化財センター宛て※代表者を含む3人まで申込可能。往復はがき往信面に代表者と参加者全員の氏名(ふりがな)・電話番号と参加希望日を、返信面にご自身の宛先を明記

▶**電子**：市ホームページから

締切 ①2月25日(火)必着 ②3月7日(金)必着 ③3月28日(金)必着

絵はがきアートコンテスト 受賞作品決定

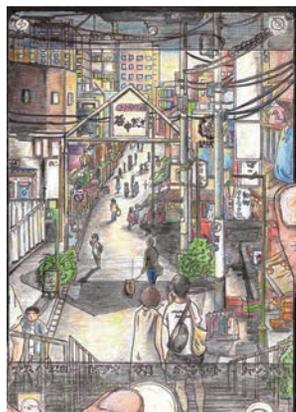
☎文化芸術課 ☎内線1292

JOBAN アートライン
協議会ホームページ



JOBANアートライン協議会は、上野から取手間の「常磐線と風景」「常磐線沿線のスポット」をテーマに募集した絵はがきアートコンテストを実施しました。150点以上の応募の中から選ばれた、大賞(1点)・優秀賞(10点)作品を紹介します。

■JOBANアートライン協議会…上野から取手間の常磐線沿線4区4市と東京藝術大学・JR東日本首都圏本部で構成する協議会。JR東日本の忘れ物傘を使ったアートワークショップを開催するなど、「アート」をキーワードにそれぞれの街や人をつなげる取り組みをしています。



大賞

キイマルさん
「今度は君と一緒に」

優秀賞(一般)



ヒロッチさん
「昼散歩 part.2」



たてべつとむさん
「水田の踏切」



かわぐちみひろ
川口観潤さん
「ああ、松戸に帰ってきたなあ」



ゴーさん
「春、北柏橋から」



きのだひろこ
木野田博彦さん
「スカイツリーと常磐線」

受賞作品を展示します

▶取手駅市民ギャラリー(取手駅東西連絡地下通路内(西))
期間 3月12日(水)～18日(火)

▶藤代駅市民ギャラリー(藤代駅橋上連絡道内(南))
期間 3月19日(水)～4月1日(火)

※各展示とも初日は13:00～

優秀賞(小学生以下)



Aikoさん
「いつもの常磐線」



しゅんさん
「桜と松戸神社」



めぐちゃんさん
「トンネル」



みやさかりん
宮坂凜さん
「お母さんキリンと赤ちゃんキリン」



つちやりほさん
「みんなをのせてどこまでも」